

## 地域に根差した大衆娯楽であるために



パチンコ・パチスロホールを経営する事業者で組織する私ども山梨県遊技業協同組合では、近年組合員の減少が続いています。最盛期の平成8年当時は172店舗あったホールも、現在は半数以下の66店舗となりました。

パチンコ・パチスロは、古くから大衆娯楽の中心として多くの国民に親しまれてきました。

しかし、インターネットやスマホゲームなどの登場により娯楽が多様化し、今では自宅に居ながらいつでも手軽に娯楽が楽しめる環境になりました。それにより、パチンコ・パチスロを楽しむファン(遊技客)が減少、ホール数も減少していきました。この動

きは業界の衰退に繋がる恐れもあり、本組合としても危惧しているところです。

パチンコ・パチスロが再び国民に親しまれる大衆娯楽となるためには、組合員一同が協力し、地域に根差した大衆娯楽の場として安心・安全なホール運営を継続していくとともに、こうした社会の変化を機会と捉え、新たなファンを獲得するために、これまでパチンコ・パチスロをしたことがない若者等にその楽しさを知ってもらうなどの取り組みが必要だと考えています。

幸いにも、本組合の組織率(組合加入率)は100%、山梨県内の全ホールが組合に加入しています。この組織率を背景に、組合では安心・安全なホール運営の支援、ファン感謝デーの共同開催や福祉車両の提供等社会貢献活動などで安心・安全な大衆娯楽であるパチンコ・パチスロを知ってもらう取り組みを行っていきます。パチンコ・パチスロが国民に愛される大衆娯楽であり続けるために、これからも組合員一同で努力していきます。

「組合は組合員のために」…その想いを胸に、これからも業界の発展や組合員のホール運営が活性化するための積極的な組合事業の展開を図っていきたいと考えています。